

令和6年度
普及指導年度計画

令和6年4月

柏崎農業普及指導センター
(柏崎地域振興局農業振興部)

目 次

第1	推進方針（総論）	
1	柏崎・刈羽地域の農業ビジョン	1
2	令和6年度推進方針	2
第2	課題別活動方針と指導計画	
1	農業を担う人材の確保・育成	
(1)	新規就農者の確保・育成	3
(2)	多様な人材が活躍できる経営体の育成	3
2	担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開	
(1)	農地の集積・集約化等による効率的な生産体制の構築	4
(2)	新潟米基本戦略に基づく水田所得の最大化	5
(3)	新潟県園芸振興基本戦略の着実な実践	6
(4)	収益性の高い畜産経営の育成	7
(5)	経営の多角化	7
(6)	スマート農業及びGAPの実践等による生産・流通現場の 技術革新・生産基盤の強化	7
3	中山間地域農業の維持と農村の多面的機能の発揮	
(1)	地域農業の維持・振興に関する合意形成支援	8
第3	重点課題	
1	全県共通課題	9
第4	課題体系及び指導対象	10
第5	活動体制及び業務分担表	
1	組織及び活動体制	11
2	業務分担表	12
第6	普及指導員が実施する調査研究の課題一覧表	14
第7	新任普及職員が実施する課題解決活動の課題一覧表	14
第8	普及指導活動として実施する実証ほ及び普及が関わる主要 実証ほ一覧表	14

第1 推進方針（総論）

1 柏崎・刈羽地域の農業ビジョン

～意欲ある農業者が所得確保できる持続的な農業の発展～

農業従事者の減少、高齢化の進行等により人手不足や農業生産力の低下が懸念される状況において、農業の担い手が柏崎・刈羽地域で安心して暮らし稼げる農業の実現を目指す。

そのため、次代を担う人材の確保・育成に向け、新規就農者の確保・定着支援に加え、関係機関・団体と連携し地域の受入体制の構築に向けた取組を前年に引き続き推進する。

また、ほ場整備等を契機とした農地の集約化による営農の効率化や、担い手を中心とした安定的な農業構造の確立による経営基盤強化とともに、需要に応じた米生産の推進、園芸産地の育成や飼料用作物の生産拡大に取り組み、水田フル活用による農業経営の安定化を目指す。

さらに、生産条件の厳しい中山間地域等では、鳥獣害防止対策および持続可能な営農や集落機能の維持発展に向けた将来プランの策定及び実践を支援する。

【推進課題】

【農業を担う人材の確保・育成】

- 新規就農者の確保

【担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開】

- 農地の集積・集約化等による効率的な生産体制の構築
- 新潟米基本戦略に基づく水田所得の最大化
- 新潟県園芸振興基本戦略の着実な実践
- 収益性の高い畜産経営の育成

【中山間地域農業の維持と農村の多面的機能の発揮】

- 地域農業の維持・振興に関する合意形成支援

【柏崎・刈羽地域の農業振興に係る主要目標】

目 標 項 目	基準年 (令和2年度)	直近実績 (令和5年度)	最終目標 (令和6年度)
〔農業を担う人材の確保・育成〕 ○新規就農・就業者数	10人/年	7人/年	15人/年
〔担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開〕 ○地域計画策定数 ○コシヒカリ1等級比率 ○葉月みのり1等級比率 ○飼料用米の単収 ○1億円を目指す園芸産地の販売額 (4産地の合計) ○WCS用稲の生産拡大	- 38% 98% 基準単収 +46kg/10a 1.7億円 0ha	4地区 1.7% 64.1% 基準単収 +94kg/10a 1.6億円 19.2ha	11地区 90%以上 90%以上 基準単収 +150kg/10a以上 5.0億円 28ha
〔中山間地域農業の維持と農村の多面的機能の発揮〕 ○将来プラン策定・実践地区数	-	3地区	4地区

2 令和6年度推進方針

「農業を担う人材の確保・育成」「担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開」及び「中山間地域農業の維持と農村の多面的機能の発揮」の3つの基本課題に基づき普及活動を展開する。また、以下の3課題(◎印)を重点課題とし、担い手と地域に着目した普及指導活動に重点的に取り組む。

重点課題	◎園芸の販売額1億円産地を育成するための取組実践～柏崎地域の儲かる園芸の実現による産地強化～〔たまたま、えだまめ、少量多品目、かき〕(※少量多品目：カリフラワー、ブロッコリー、アスパラガス、越後姫、さといも、にんじん、キャベツ、JA直売所「愛菜館」で取り扱う柏崎・刈羽地域産園芸品目) ◎中山間地域における持続可能な農業・農村の仕組みづくり〔将来プラン策定支援：柏崎市高柳地区、将来プラン実践支援：柏崎市別保地区・柏崎市南鯖石地区〕 ◎農地の集積・集約化等による効率的な生産体制の構築〔法人等担い手の連携体制づくり：柏崎市南鯖石地区〕
------	---

農業を担う人材の確保・育成	(1)新規就農者の確保・育成 ○就農候補者及び就業希望者等の就業に向けた課題解決 ○就業段階に応じたたすきアップによる次世代の経営者育成 ○4Hクラブ活動を通じた仲間作りや地域リーダーの育成 (2)受入体制構築の推進 ○関係機関・団体が一体となった農業人材の確保・育成に向けた受入体制の構築 (3)多様な人材が活躍できる経営体の育成 ○農業経営体の発展に向けた農福連携の取組推進
---------------	--

担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開	(1)農地の集積・集約化等による効率的な生産体制の構築 ◎法人等担い手の連携による効率的な生産体制の構築 (2)新潟基本戦略に基づく水田所得の最大化 ○異常気象に対応した技術対策の徹底による高品質安定生産 ○「葉みのみ」の高品質安定生産と稲作収益の向上に向けた生産拡大 ○主食用米並の所得確保に向けた飼料用米や大豆の生産性向上 (3)新潟県園芸振興基本戦略の着実な実践 ◎産地担い手の確保、産地技術の確立や作業受委託体制の推進による生産性向上、及び販売・ブランド力の強化 (4)収益性の高い畜産経営の育成 ○耕畜連携による水田飼料作物の生産利用体制づくり (5)経営の多角化 ○外部専門家と連携した農業法人等の収益性向上 (6)スマート農業及びGAPの実践等による生産・流通現場の技術革新・生産基盤の強化 ○スマート農業の面的拡大による水稲・大豆作業の効率化 ○GAPの実践による農産物の安全性及び信頼性の確保と就業環境の改善
------------------------	---

中山間地域農業の維持と農村の多面的機能の発揮	(1)地域農業の維持・振興に関する合意形成支援 ◎地域住民の主体的参画による地域活動に向けた推進体制の構築 ◎営農継続・集落機能の維持に向けた将来プランの策定 ◎地域が主体的に取り組みむ将来プランの実践
------------------------	--

◎：重点課題項目

第2 課題別活動方針と指導計画

1 農業を担う人材の確保・育成

(1) 新規就農者の確保・育成

- 関係機関・団体と連携し就農情報提供や就農相談等の就農支援を実施し、新規就農者、新規参入者、法人等就業者等の新たな担い手を確保する。
- 就農相談から就農に至るまで一連で支援できる受入体制の構築に向け、就農前の体験研修の推進体制を整備する。
- 青年等就農計画のフォローアップや、ニュー農業塾、新規就農者交流会等により、新規就農・就業者等の生産及び経営管理技術の向上を図り、定着を支援する。
- 4Hクラブへの活動支援を通じて若手農業者の仲間作りや女性クラブ員の参加を進め、地域リーダーの育成や社会参画につながる活動を支援する。

指導事項	指導内容	対象	目標		担当者	効果測定方法
			項目	目標値 (前年度)		
ア 新規就農者の 確保	(7) 就農啓発及び就農相談、就農支援活動の実施	新規就農希望者	新規就農者数	15 (7)	佐野	市町村等へ調査
	(1) 受け入れ体制づくりの支援	柏崎・刈羽地域指導農業士会	農業者を交えた推進体制の整備 受け入れ経営体の確保	1 (0) 10 (7)	佐野	対象者への聞き取り
イ 次世代の経営者育成	(7) 新規就農・就業者の生産技術及び経営管理技術向上	新規認定就農者(2人)	前年より農産物売上が向上した認定就農者数	2 (3)	佐野	対象者への聞き取り
		新規就農・就業者	ニュー農業塾修了者数	5 (5)		
	(1) 4Hクラブの活動支援	Yes農クラブ	プロジェクト活動実施数	2 (1)	竹内	対象者への聞き取り
			新規会員数	2 (1)		

(2) 多様な人材が活躍できる経営体の育成

- 地域における農福連携(施設外就労)を試行する農業経営体を支援し、経営発展や社会貢献活動に向け農福連携の取組を推進する。

指導事項	指導内容	対象	目標		担当者	効果測定方法
			項目	目標値 (前年度)		
ア 農福連携の 推進	(7) 受入経営体と福祉事業所とのマッチング	雇用意向のある経営体	新規農福連携経営体数	2 (2)	佐藤	対象者への聞き取り

2 担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開

(1) 農地の集積・集約化等による効率的な生産体制の構築

- 効率的な生産体制構築に向けた法人等の担い手間の組織的連携に向けた話し合い活動を支援する。

注) 指導事項・内容、対象のゴシック文字は、重点課題を示す。

指導事項		対 象	目 標		担当者	効果測定方法
	指導内容		項 目	目標値 (前年度)		
ア	法人間連携に向けた話し合い・合意形成支援	柏崎市南鯖石地区	新法人の設立	1 (0)	田中	対象者への聞き取り

(2) 新潟米基本戦略に基づく水田所得の最大化

- 肥培管理や病害虫・雑草管理の不徹底により、水稻の単収や品質が低下しているため、関係機関等と連携し、適切な栽培指導を行うとともに、情報発信体制を強化して、高品質安定生産を図る。
- 葉月みりの早期出荷に向けた生育量の確保及び適期収穫、異常高温への対応による高品質安定生産を図るための栽培指導を行う。
- 主食用米並の所得確保に向け、飼料用米の多収穫生産を実現する。
- 大豆の高品質安定生産のための栽培指導を行う。

指導事項	指導内容	対象	目標		担当者	効果測定方法
			項目	目標値 (前年度)		
ア 新潟米ブランド力の維持・強化	(7)主食用米等の高品質安定生産	水稻重点指導対象（うるち米調査ほ担当生産者19人）	うるち米1等級比率90%以上生産者数	16人 (0)	板谷越	JAへの聞き取り
	※ドローンによる穂肥・除草剤散布	ドローンによる散布生産者	3回目穂肥又は全量基肥の追肥実施率（診断により必要な場合）	80% (—)		
	(1)葉月みりの安定生産	葉月みり生産者（58人）	1等級比率	90%以上 (64.1)	竹内	JAへの聞き取り
	※ドローンによる穂肥・除草剤散布	ドローンによる散布生産者	平均単収510kg/10a以上達成者数	32人 (8)		
イ 非主食用米、大豆の生産拡大	(7)飼料用米の多収栽培	新潟次郎生産者（127人）	地域基準単収+150kg達成者数	40人 (35)	小野里	水田活用交付金支払実績から把握 栽培記録カードの集約
	※ドローンによる穂肥・除草剤散布	ドローンによる散布生産者	適期中干し実施率（中干し終了が出穂30日以上前）	90%以上 (77)		
	(1)大豆の安定生産	作付1ha以上の大豆生産者（18人）	収量180kg/10a以上生産者割合	60% (22)	田中	JA等への聞き取り
	※受託組織の活動支援	防除受託組織（2組織）	基幹防除の受託面積	35ha (30.4)		

(3) 新潟県園芸振興基本戦略の着実な実践

- たまねぎ、えだまめの産地強化に向け、生産技術の改善による単収向上を図りつつ、基盤整備地区も含め、担い手間の作業受託体制の構築・連携強化により持続的な産地体制整備を進める。
- 少量多品目産地の育成に向け、各重点品目のJA生産部会を中心にした生産技術の向上、農業関係機関と連携した販売力強化活動及び新規栽培者への技術習得支援体制の整備を進める。

注) 指導事項・内容、対象のゴシック文字は、重点対象を示す。

指導事項	指導内容	対 象	目 標		担当者	効果測定方法
			項 目	目標値 (前年度)		
ア 園芸産地の育成	(ア) たまねぎ産地の育成	JAえちご中越柏崎たまねぎ生産部会 (25人)	荷受け単収3.5t以上 生産者数	7人 (6)	児玉	JAへの聞き取り 生産者への聞き取り
	※担い手間連携支援(作業受託組織の活動強化支援)	※ 基盤整備地区 新規機械利用 組合	新規育苗取組生産者 数	1 (0)		
			機械共同利用面積	60a (-)		
	(イ) えだまめ産地の育成	JAえちご中越柏崎えだまめ生産部会 (34人)	10aあたり製品単収	283kg以上 (193)		
※担い手間連携支援(作業受託組織の活動強化支援)	※ 基盤整備地区 新規機械利用 組合	可販割合の向上	60% (55)			
		機械共同利用面積	147a (-)			
	(ウ) 少量多品目産地の育成	JAえちご中越柏崎カリフラワー生産部会(カリフラワー14人、ブロッコリー8人)、JAえちご中越柏崎越後姫生産部会(4人)、 (株)ファームくじらなみ、JAえちご中越柏崎アスパラガス生産部会(6人)	直売所販売額	2.4億円 (2.39)	児玉	JA等への聞き取り 出席簿確認
	※新規栽培者に対する技術習得体制整備支援(園芸参入塾)	園芸参入塾生 (アスパラガス)(7人)	新規及び生産拡大栽培者数	5人 (3)		
			園芸参入塾修了者数	7人 (7)		

(4) 収益性の高い畜産経営の育成

- 畜産経営の持続的な発展のため、関係機関・団体が一体となり耕畜連携による水田飼料作物の生産利用体制づくりを進め、自給飼料の利用を高め飼料費の抑制を図る。

指導事項	指導内容	対象	目標		担当者	効果測定方法
			項目	目標値 (前年度)		
ア 自給飼料の活用等によるコスト低減	(ア) 水田飼料作物の生産利用体制づくり	稲WCSを生産する組織 (2)	平均単収	5 t/10a (5.9)	佐野	栽培者への聞き取り
			栽培面積	28ha (19.2)		

(5) 経営の多角化

- 農業法人等の収益向上に向け、研修会への参加誘導や外部専門家と連携し、経営力の向上を図る。

指導事項	指導内容	対象	目標		担当者	効果測定方法
			項目	目標値 (前年度)		
ア 企画・販売力の強化	(ア) 農業法人等の収益向上支援	売上や利益の向上を目指す農業法人 (5)	経営改善等の計画目標達成経営体数	5 (2)	竹内	経営体への聞き取り

(6) スマート農業及びGAPの実践等による生産・流通現場の技術革新・生産基盤の強化

- 県産農産物の安全性や信頼性の確保と、農場経営の改善に向けて、GAPの取組みを推進する。また、認証GAP取得意向のある経営体の認証取得を支援する。
- スマート農業の推進のため、ドローンによる水稲及び大豆の防除面積の拡大を支援する。

指導事項	指導内容	対象	目標		担当者	効果測定方法
			項目	目標値 (前年度)		
ア GAPの導入実践促進	(ア) GAP導入支援	JAえちご中越柏崎カリフラワー生産部会(ブロッコリー5戸)	団体認証取組合意形成数	1 (0)	佐藤	JAへの聞き取り
イ スマート農業の推進	(ア) 省力化機械の普及	JAえちご中越柏崎ドローン受託組織、高柳農業振興会	ドローン防除等作業受託面積	50ha (39.8)	板谷越	JA等に確認

3 中山間地域農業の維持と農村の多面的機能の発揮

(1) 地域農業の維持・振興に関する合意形成支援

- 中山間地域の営農や集落機能を維持・発展させるため、地域住民が主体となった話し合いや取組を促進する。
- 地域が主体となって行う将来プラン策定や活動組織づくりを伴走型で支援する。
- 地域が主体となって取り組む将来プランの実践を支援する。

注) 指導事項・内容、対象のゴシック文字は、重点課題を示す。

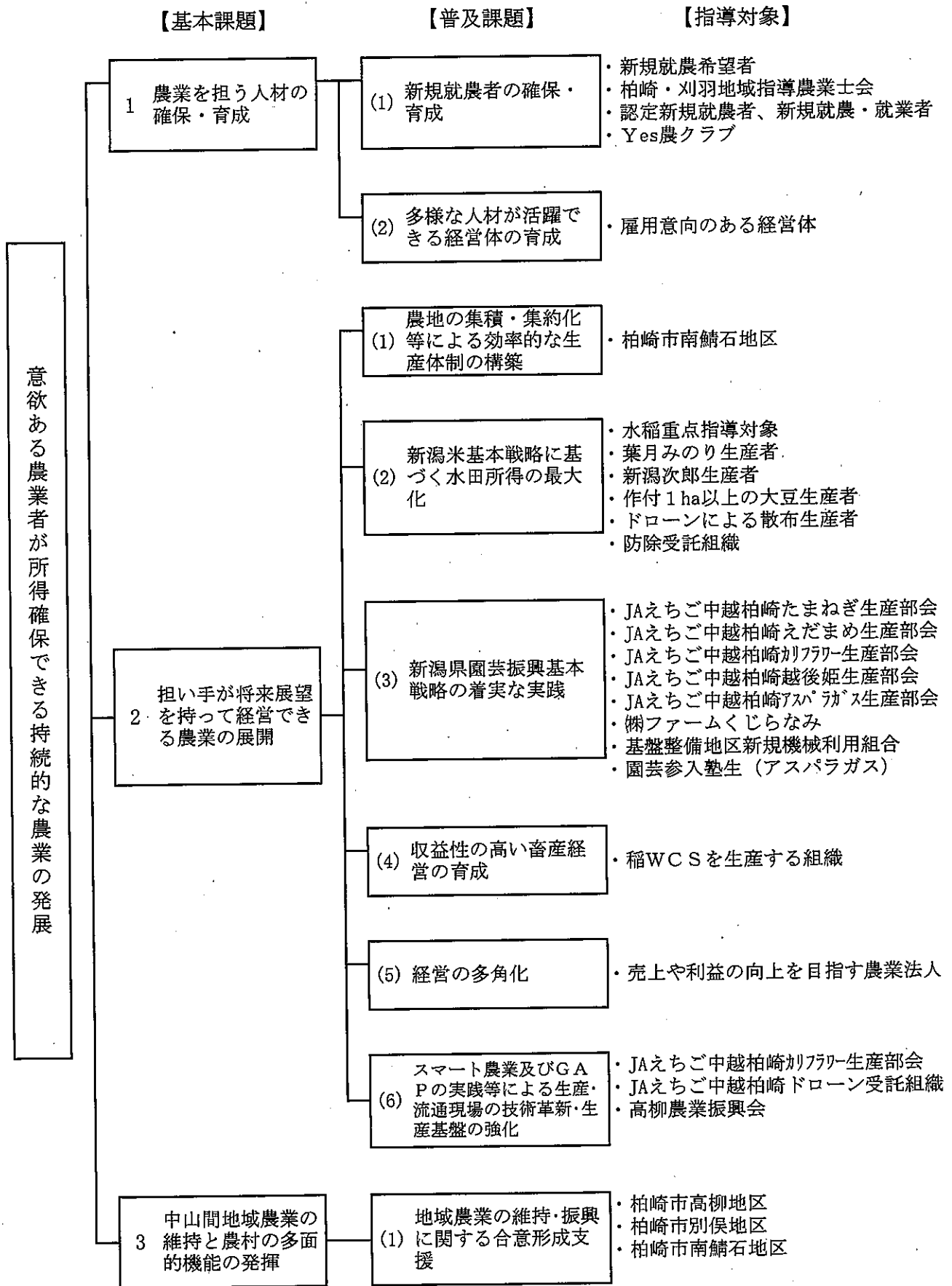
指導事項	指導内容	対象	目標		担当者	効果測定方法
			項目	目標値 (前年度)		
ア 営農継続に向けた地域の体制づくり	(ア)集落機能の維持に向けた将来プランの作成支援	柏崎市 高柳地区	将来プランの策定	1 (-)	佐藤	対象者への聞き取り
		柏崎市 別俣地区	地域ビジネス実現に向けたロードマップ(案)の作成	1 (-)	児玉	対象者への聞き取り
	柏崎市 南鯖石地区	移住者とのトークイベント開催	1 (1)	板谷越	対象者への聞き取り	
		南星が丘での交流会開催	1 (1)			
		さいの神イベントの開催	1 (1)			
お茶のみ情報交換会の場の開設	1 (1)					
高齢者による農作業支援計画の作成	1 (-)					

第3 重点課題

1 全県共通課題

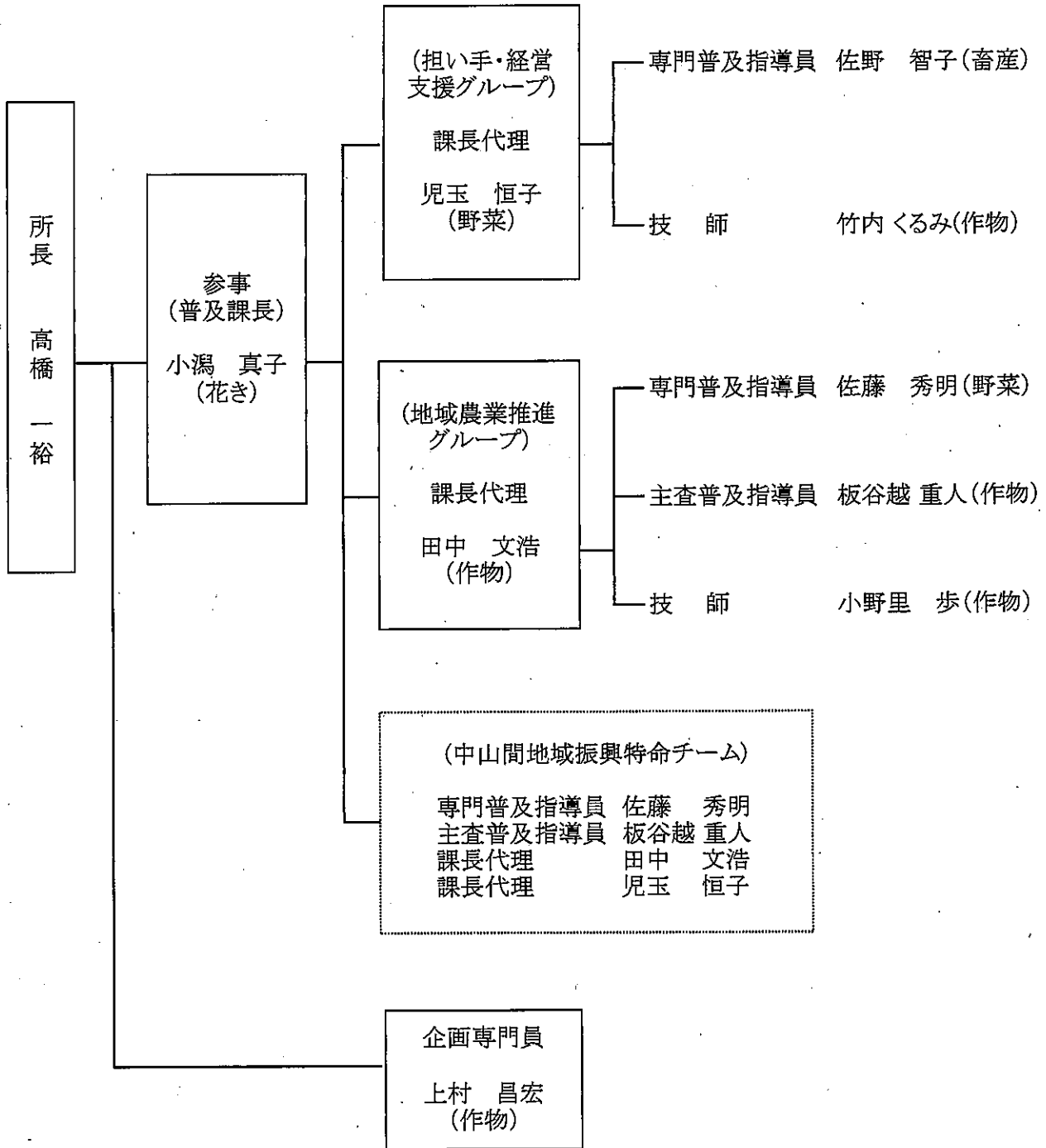
基本課題				検討チーム
普及課題	指導事項	指導内容	対象	
【園芸の販売額1億円産地を育成するための取組の実践 ～柏崎地域の儲かる園芸の実現による産地強化～】				園芸チーム リーダー： 佐藤 チーム員： 児玉 小潟
2 担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開				
(3) 新潟県園芸振興基本戦略の着実な実践	ア 園芸産地の育成	(ア) たまねぎ産地の育成	JA えちご中越柏崎たまねぎ生産部会	
		(イ) えだまめ産地の育成	JA えちご中越柏崎えだまめ生産部会	
		(ウ) 少量多品目産地の育成	JA えちご中越柏崎カリフラワー生産部会、JA えちご中越柏崎越後姫生産部会、(株)ファームくじらなみ、JA えちご中越柏崎アスパラガス生産部会	
【中山間地域における持続可能な農業・農村の仕組みづくり】				中山間地域振興特命チーム リーダー： 小潟 チーム員： 上村 田中 児玉 佐藤 板谷越
3 中山間地域農業の維持と農村の多面的機能の発揮				
(1) 地域農業の維持・振興に関する合意形成支援	ア 営農継続に向けた地域の体制づくり	(ア) 集落機能の維持に向けた将来プランの作成支援	柏崎市高柳地区	
		(イ) 地域が取り組む将来プランの実践支援	柏崎市別俣地区 柏崎市南鯖石地区	
【担い手を中心とした安定的な農業構造の確立】				
2 担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開				
(1) 農地の集積・集約化等による効率的な生産体制の構築	ア 法人間連携に向けた話し合い・合意形成支援	(ア) 法人等担い手の連携体制づくり	柏崎市南鯖石地区	

第4 課題体系及び指導対象



第5 活動体制及び業務分担表

1 組織及び活動体制



2 業務分担表

ア 担い手・経営支援グループ

業務内容	主任	副任
1 業務の総括に関する事項	課長代理 児玉	—
2 普及指導活動の企画調整及び実施に関する事項 (1) 普及計画の樹立、進行管理及び活動の評価 (2) 普及関係事業の企画・調整及び実施 (3) 地域農業振興協議会の部会運営等(担い手部会等)に関する事項 (4) 試験研究機関と連携した活動に関する事項 (5) 調査研究及び職員研修・人材育成に関する事項	専門普及員 佐野 専門普及員 佐野 専門普及員 佐野 専門普及員 佐野 専門普及員 佐野	技 師 竹内 技 師 竹内 技 師 竹内 技 師 竹内 技 師 竹内
3 農業の担い手及び経営体の育成指導に関する事項 (農業の担い手の育成指導に関する事項) (1) 新規就農者等の確保・育成に関する事項 (2) 地域農業リーダー育成に関する事項 (3) 女性農業者の社会参画・起業化に関する事項 (経営体の育成指導に関する事項) (4) 経営体の育成に関する事項 (5) 農業経営相談・経営改善等に関する事項	専門普及員 佐野 専門普及員 佐野 専門普及員 佐野 技 師 竹内 技 師 竹内	技 師 竹内 技 師 竹内 技 師 竹内 専門普及員 佐野 専門普及員 佐野
4 普及情報に関する事項 (1) 農業普及情報の提供活動に関する事項 (2) 普及情報機材の管理運営 (3) 各種表彰事業に関する事項 (4) 県民への情報提供に関する事項	技 師 竹内 技 師 竹内 技 師 竹内 技 師 竹内	専門普及員 佐野 専門普及員 佐野 専門普及員 佐野 専門普及員 佐野

イ 地域農業推進グループ

業務内容	主任	副任
1 業務の総括に関する事項	課長代理 田中	—
2 地域農業振興及び農業経営改善の企画に関する事項 (1) 担い手を中心とした安定的な農業構造の確立に関する事項 (2) 園芸販売額1億円産地を達成するための計画及び実践に関する事項 (3) みどり戦略に関する事項 (4) 農福連携・多様な人材確保に関する事項 (5) スマート農業・農業DXに関する事項 (6) 農業生産工程管理(GAP)の普及推進に関する事項 (7) 鳥獣被害防止対策に関する事項	専門普及員 佐藤 専門普及員 佐藤 専門普及員 佐藤 専門普及員 佐藤 主査普及員 板谷越 専門普及員 佐藤 専門普及員 佐藤	主査普及員 板谷越 主査普及員 板谷越 主査普及員 板谷越 技 師 小野里 専門普及員 佐藤 主査普及員 板谷越 課長代理 田中
3 農業労働及び農村生活環境の向上の指導に関する事項	普及課長 小淵	—

ウ 中山間地域振興特命チーム（統括 普及課長 小潟）

業務内容	主任	副主任
1 地域農業振興及び農業経営改善の企画に関する事項		
(1) ビレッジ・プランに関する事項	専門普及員 佐藤	課長代理 児玉
(2) 中山間地域の営農体制づくり及び地域振興の活性化に関する事項	主査普及員 板谷越	課長代理 田中
(3) 鳥獣被害防止対策に関する事項	専門普及員 佐藤	課長代理 田中

エ 専門項目活動

業務内容	主任	副主任
1 農業経営及び農業技術の指導に関する事項		
(1) 作物の技術、経営に関する事項	主査普及員 板谷越	課長代理 田中
(2) 野菜の技術、経営に関する事項	専門普及員 佐藤	課長代理 児玉
(3) 果樹の技術、経営に関する事項	普及課長 小潟	課長代理 児玉
(4) 花きの技術、経営に関する事項	普及課長 小潟	課長代理 児玉
(5) 畜産の技術、経営に関する事項	専門普及員 佐野	課長代理 田中
(6) 6次産業化(加工)の技術、経営に関する事項	普及課長 小潟	課長代理 児玉
(7) 地域農業振興協議会の部会運営等（専門項目）に関する事項	普及課長 小潟	(企画専門員 上村)
(8) 病虫害防除・土壌診断・施肥改善に関する事項	主査普及員 板谷越	専門普及員 佐藤
(9) 展示ほ・実証ほに関する事項	専門普及員 佐藤	主査普及員 板谷越

オ 企画専門員（長岡農林振興部農業企画課所属・柏崎普及センター兼務）

業務内容	主任
1 地域農業の総合推進に関する事項	
(1) 地域振興計画、農業振興計画等の企画・推進	企画専門員 上村
(2) 農業振興協議会の企画・事務総括	企画専門員 上村
(3) 農林県単事業及び国補事業に係る企画・調整	企画専門員 上村
2 農業構造の改善に関する事項	
(1) 地域農業構造の改善に係る企画・推進	企画専門員 上村
(2) ほ場整備等推進プロジェクトチーム活動等の運営・推進	企画専門員 上村
3 農山村地域等の振興に関する事項 中山間地域振興の企画・推進	企画専門員 上村

第6 普及指導員が実施する調査研究の課題一覧表

課題名	実施者
コシヒカリBLにおける高濃度窒素液肥の穂肥施用による軽労化・省力化及び収量・品質向上効果の現地実証	田中 板谷越 上村
アスパラガスの立茎方法改善による収量向上効果の確認	佐藤 児玉 小瀧
稲WCSの取り組み体制調査	佐野 高橋

第7 新任普及職員が実施する課題解決活動の課題一覧表

課題名	実施者
葉月みのりの収穫時期別収量・品質に係る調査	竹内
飼料用米の収量向上及び経営面での有利性の検証	小野里

第8 普及指導活動として実施する実証ほ及び普及に関わる主要実証ほ一覧表

1 普及指導センターが普及指導計画に位置付け、実施する実証ほ等

事業名	期間	対象	担当者	内容
特殊気象感応体制整備強化事業調査ほ (水稲気象感応ほ)	R 6. 4～10月	柏崎市田塚	竹内	水稲定期報告(コシヒカリ)
	R 6. 4～10月		竹内	水稲定期報告(新之助)
地域課題解決実証ほ	R 6. 4～10月	柏崎市与三	田中	ドローンによる穂肥施用の軽労化・省力化
園芸産地課題解決技術実証ほ	R 6. 5 ～R 7. 1月	刈羽村刈羽	佐藤	アスパラガスの立茎方法改善による収量向上
園芸作物技術情報システム調査ほ	R 6. 5～10月	柏崎市矢田	佐藤	えだまめ
園芸作物技術情報システム調査ほ	R 6. 10 ～R 7. 7月	柏崎市畔屋	児玉	たまねぎ

2 普及指導センターが関わり支援する実証ほ等

実証ほ名	期間	実施者	担当者	内容
農薬展示ほ	R 6. 4～10月	(社)新潟県植物防疫協会	板谷越	水稲除草剤(カチドキZ楽粒)
農薬実証ほ	R 6. 4～10月	(社)新潟県植物防疫協会	竹内	大豆除草剤(フルミオWDG)
農薬実証ほ	R 6. 4～10月	(社)新潟県植物防疫協会	佐藤	アスパラガスにおけるナメクリーン3の実用性評価
日射制御型底面給水育苗現地試験	R 6. 6～11月	中山間地農業技術センター	児玉	カリフラワー苗の日射制御型底面給水育苗技術